

筑波大学附属坂戸高等学校

学校選びが本格化する前に知っておくべきこと

国立大学附属学校だからこそお届けできる中立的、且つ最新の情報を皆様にお届けします。

- ✓国際バカロレア(IB)の難易度は、どの程度なのでしょうか？
- ✓帰国生の高校選びにおいて、気をつけるべきポイントとは？
- ✓最近、**大学入試が大幅に変わっている**というニュースを見かけましたが、本当ですか？
- ✓**私学無償化**の影響で、高校選びはどのように変化しそうですか？

この度、JOBA ハノイ校様のご厚意により、教育講演会を企画致しました。本校の教員が、IB、大学入試・高校教育の現状、及び帰国生の高校選びのポイントについて解説致します。そして、本校が変化する時代にどのように対応しているか、説明致します。

筑波大学附属坂戸高等学校 (UTSS)

埼玉県坂戸市にある筑波大学の附属学校です。帰国生や外国人生徒を積極的に受け入れています。本校は、国立大学附属校の特色を生かしたグローバル教育プログラムを開発・実践しています。

SG クラス(スーパーグローバルクラス)を設け、帰国生に特化した入試も行っています。また、2018 年度から国際バカロレア(IB)ディプロマプログラム(DP)を導入し、日本語 DP による IB 教育がスタートしました。総合学科であり、且つ IB を導入している学校は、日本で本校のみです。現在、IB キャリア関連プログラム(CP)導入に向けて準備中です。

●開催日時:5月 28 日(木) 13:30~15:00

●会場:JOBA ハノイ校 TID センタービル6階

<https://joba-hanoi.jolnet.com/>

●お申し込み: 以下の URL、又は QR コードより

<https://forms.gle/RnNQodvvpqVaKCLQ8>



●担当者、紹介

吉田賢一(よしだ・けんいち) 筑波大学附属坂戸高等学校 公民科教諭、IBDP コーディネーター

大学院修了後、総合商社で物流を担当。その後、JICA 青年海外協力隊でインドネシアの国立公園に勤務した。帰国後、教育の世界に入り、筑波大学附属坂戸高等学校に奉職。IB や海外研修の開発など、幅広く国際教育を担当中。現在は、IB キャリア関連プログラム(CP)の立ち上げに従事している。

学校選びが本格化する前に知っておくべきこと！

国立大学附属学校だからこそお届けできる中立的、且つ最新の情報を皆様にお届けします。

・変化する大学入試

筑波大学が一般入試を「面接と論文試験を中心にする」予定であることをご存じでしょうか？ 大学入試は、もはや総合型・学校推薦型がメインとなりつつあります。どのような入試なのか、実際の問題や出願書類を提示しながら、具体的に解説します。

・国際バカロレアという選択肢について

旧安倍政権が掲げた IB 校増設計画。実際、日本ではどの程度 IB が浸透してきたのでしょうか。IB 教育の中身について、本校を事例に解説します。また、最終試験や課題の内容など、実例をお示しします。最終試験の問題や生徒が作成した課題の実物を持参します。

・高校選びの基本について

全日制・通信制、普通科、専門学科、総合学科……、日本には約 4,800 の高校が存在しますが、高校と一言で言っても、多様な特徴を持っています。それぞれどのような特徴を持っているのか、高校選びの基本について解説します。また、高校進学以外の選択肢についても、具体的に説明します。

・少子化と教育改革の方向性

少子化、私学無償化など、学校教育は大きく変わりつつあります。現状、高校教育がどのような方向に進んでいるのか、見通しを解説します。

また変化の激しい状況下において、本校がどのような将来像を描いているか、ハノイの皆様には一足早くお伝え致します。

